

第7 母子保健事業

第 7 母 子 保 健 事 業

育児に対する不安が強く、育児に不慣れな保護者が多くなってきた現状において、保護者との信頼関係をもつことがその後の支援にとっても重要になってくる。そのために保護者との出会いの場を大切に信頼関係が築けるようにしている。

また、妊娠期から子育て期にわたる切れ目ない子育て支援の拠点として、子育て世代包括支援センターが平成30年9月に開設され、子育てに関するあらゆる相談に応じ関係機関が連携し、親子を支援している。

- (1) 親子が地域の中で成長でき、また、みんなで親子をささえることができる地域づくりに向け、同じ地域に住む健康ボランティアである保健連絡員とそのOBによる赤ちゃんの全戸訪問を行い、親子の成長を見守り地域で子育てを支えていけるようにする。
- (2) 母子健康手帳の名称を親子健康手帳とし、父親、母親の2人で子育てできるようにし、妊婦との最初の出会である親子健康手帳（母子健康手帳）交付時においてアンケートをもとに母親の相談に応じ、関係づくりを心がけている。
- (3) ほんの些細な疑問でも相談できることを伝え、育児の孤立化を防ぐ。
- (4) 妊娠中の食生活は、母体の健康維持や胎児の成長に影響を及ぼすことを伝え、母子ともに健康に出産できるよう援助する。
- (5) 妊娠中よりお口の健康に関して注意ができるよう援助する。また、子どもの健診の機会をとらえ、母親の歯科健診を実施している。
- (6) 乳幼児健診での保護者との出会いを大切にし、信頼関係を築き、育児に関する問題に対して援助する。この実現に向けて健診体制を検討し工夫した。また乳幼児健診にてすべての子どもの発育発達を保護者と共に確認する。
- (7) なんらかの障がいのある子に対して、保護者が安心して子育てができるよう支援する。
- (8) 「生と性」に関して親・子・地域に周知し、いのちを大切にし、今あるがままの自分自身が価値ある自分であることを認め（自己肯定感）、いきいきと生きる力を高めることができるよう支援する。

1 母子保健事業一覧

《保健センター》

不妊治療等助成事業・不育症治療等助成事業

保健連絡員・保健連絡員OB
による赤ちゃん訪問

4か月児健康診査

母親歯科健診

離乳食教室

1歳6か月児健康診査・
歯科健康診査・フッ化物塗布

2歳3か月児歯科健康診査・
フッ化物塗布・育児相談

3歳児健康診査・
歯科健康診査・フッ化物塗布

歯みがき教室
(対象：保育園・幼稚園
こども園・小学4年生)

小牧市中学生ピロリ菌検査
(対象：中学2年生)

母子保健推進協議会

- ・生と性のカリキュラム
- ・発達障がいを持つ子どもとその親の支援のあり方部会

すくすく広場

運動発達相談

臨床心理士による相談

なかよし教室

おひさまサロン

連携

《子育て世代包括支援センター》

予期せぬ妊娠相談（こまき妊娠SOS）

流産・死産の相談

低所得の妊婦に対する初回産科受診料支援事業

妊娠の届出

親子健康手帳の交付（個別交付）

※保健師・助産師による交付

※支援方針の判定

※個別支援計画の作成／見直し

妊婦個別健康診査(14回)

※多胎妊婦に対し公費妊婦健康診査5回追加)

妊婦個別歯科健康診査(1回)

妊娠8か月時アンケート

産婦個別健康診査(2回)

新生児聴覚検査・乳児個別健康診査(2回)

新生児電話相談

未熟児訪問

新生児乳児訪問

母乳相談

産後ケア事業

1stアニバーサリー事業

児童館巡回育児相談

利用者支援事業（母子保健型）（対面・電話相談・オンライン相談・訪問）

個別支援（面接・訪問）こまねっと（電話相談）

にこにこむし歯予防相談

2 親子健康手帳（母子健康手帳）交付

(1) 目 的

ア 親子健康手帳（母子健康手帳）交付の機会をとらえ、父親母親との関係を築き、産前産後不安がある時、一人で悩まずに問題解決に向かって行動できる親に成長できるように支援する。

イ 小牧市独自の親子健康手帳（母子健康手帳）を活用することで、父親母親としての意識を高め「二人で子育て」ができるよう支援する。また、二人で作り上げた親子健康手帳（母子健康手帳）により、子どもが「愛され成長してきたこと」を実感し、「命の大切さ、尊さ」を学ぶために、活用してもらえるように働きかける。

ウ 母乳育児の推進に向け支援する。

(2) 交付場所

子育て世代包括支援センター

(3) 交付方法

アンケートを記入してもらい、保健師・助産師による面接・相談を実施する。

(4) 発行数

親子健康手帳（母子健康手帳）発行数（多胎児、再交付含む） 1,054人

	妊娠届出数	妊娠週数					年齢		就業者数	飲酒者数
		11週以内	12～19週	20～27週	28週以上	不詳	20歳未満	40歳以上		
実数(人)	983	933	39	8	3	0	9	38	732	5
率(%)	100.0	94.9	4.0	0.8	0.3	0	0.9	3.9	74.5	0.5

(5) 外国語母子健康手帳総発行数 [うち（ ）内は再発行分] (人)

ポルトガル語	スペイン語	タガログ語	英語	中国語	ハングル語	インドネシア語	タイ語	ネパール語	ベトナム語	計
25 (8)	8 (9)	1 (0)	32 (5)	4 (0)	0 (1)	2 (3)	1 (0)	0 (9)	120 (13)	193 (48)

(6) 親子健康手帳交付時アンケート結果 (アンケート回答 1,070 人) (人)

第一子	520	今まで赤ちゃんを抱っこした経験あり	462	育児の相談者なし	2
				育児の協力者なし	2
				育児の相談・協力者両方なし	0
				育児の相談・協力者両方あり	458
		今まで赤ちゃんを抱っこした経験なし	57	育児の相談者なし	0
				育児の協力者なし	1
				育児の相談・協力者両方なし	0
				育児の相談・協力者両方あり	56
		未 記 入	1		
第二子以降	550			育児の相談者なし	2
				育児の協力者なし	1
				育児の相談・協力者両方なし	2
				育児の相談・協力者両方あり	544
				未 記 入	1

3 妊婦・産婦・乳児個別健康診査

(1) 目 的

妊婦・産婦・乳児の健康保持・増進及び異常の早期発見・早期治療を図ることを目的とする。

(2) 妊婦健康診査実施延人数、妊婦健康診査結果

[医療機関委託分、() 内は県外医療機関・助産所での受診分、R5.4～R6.3]
(人)

	受診票交付数	受診 延人数		受診結果			
				異常なし		異常あり	
第1回	986	911	(6)	828	(5)	83	(1)
第2回	1,010	851	(9)	814	(9)	37	(0)
第3回	1,019	846	(15)	805	(14)	41	(1)
第4回	1,026	887	(6)	846	(6)	41	(0)
第5回	1,046	872	(20)	819	(19)	53	(1)
第6回	1,048	828	(15)	772	(14)	56	(1)
第7回	1,055	808	(19)	753	(19)	55	(0)
第8回	1,050	836	(17)	522	(14)	314	(3)
第9回	1,061	761	(45)	706	(43)	55	(2)
第10回	1,064	786	(54)	675	(52)	111	(2)
第11回	1,065	671	(52)	620	(49)	51	(3)
第12回	1,068	732	(56)	482	(47)	250	(9)
第13回	1,070	506	(46)	486	(42)	20	(4)
第14回	1,070	334	(34)	329	(32)	5	(2)
第15回	9	0	(0)	0	(0)	0	(0)
第16回	9	0	(0)	0	(0)	0	(0)
第17回	9	0	(0)	0	(0)	0	(0)
第18回	9	0	(0)	0	(0)	0	(0)
第19回	9	0	(0)	0	(0)	0	(0)
子宮がん検診	989	877	(6)	847	(6)	30	(0)
計	15,672	11,506	(400)	10,304	(371)	1,202	(29)

※ R3.4～ 多胎妊婦に対して、妊婦健康検査受診票 5 回追加交付（第15～19回）

(3) 産婦健康診査実施延人数、産婦健康診査結果

[医療機関委託分、()内は県外医療機関での受診分、R5.4～R6.3] (人)

	受診票 交付数	受診 延人数		受診結果			
				異常なし		異常あり	
第1回	1,075	821	(59)	714	(57)	107	(2)
第2回	1,078	661	(41)	629	(40)	32	(1)
計	2,153	1,482	(100)	1,343	(97)	139	(3)

(再掲) 産婦健康診査エジンバラ産後うつ病質問票 (EPDS) 結果 (人)

	① 合計9点 以上		② 自殺念慮・ 自殺企図 1点以上		①かつ②		実施なし	
第1回	66	(3)	8	(0)	18	(1)	25	(1)
第2回	16	(0)	4	(2)	10	(2)	2	(0)
計	82	(3)	12	(2)	28	(3)	27	(1)

(4) 新生児聴覚検査実施延人数、新生児聴覚検査結果

[医療機関委託分、()内は県外医療機関での受診分、R5.4～R6.3] (人)

	受診票 交付数	受診 延人数		受診結果			
				異常なし		異常あり	
新生児聴覚検査	1,084	766	(60)	760	(60)	6	(0)

(5) 乳児健康診査実施延人数、乳児健康診査結果

[医療機関委託分、()内は県外医療機関での受診分、R5.4～R6.3] (人)

	受診票 交付数	受診 延人数		受診結果			
				異常なし		異常あり	
第1回	1,088	821	(46)	774	(39)	47	(7)
第2回	1,161	666	(0)	633	(0)	33	(0)
計	2,249	1,487	(46)	1,407	(39)	80	(7)

4 健康診査事業

(1) 4か月児健康診査

ア 目 的

育児不安を解消し、今後保健センターが親の相談機関としての位置づけを確立していく。

また、全身の健康状態、発育、発達、栄養、保育環境等の確認により、疾病や障がいの早期発見、適切な早期治療、療育を受けることができるように援助していく。

イ 対 象

市内在住の4か月児

ウ 実施回数

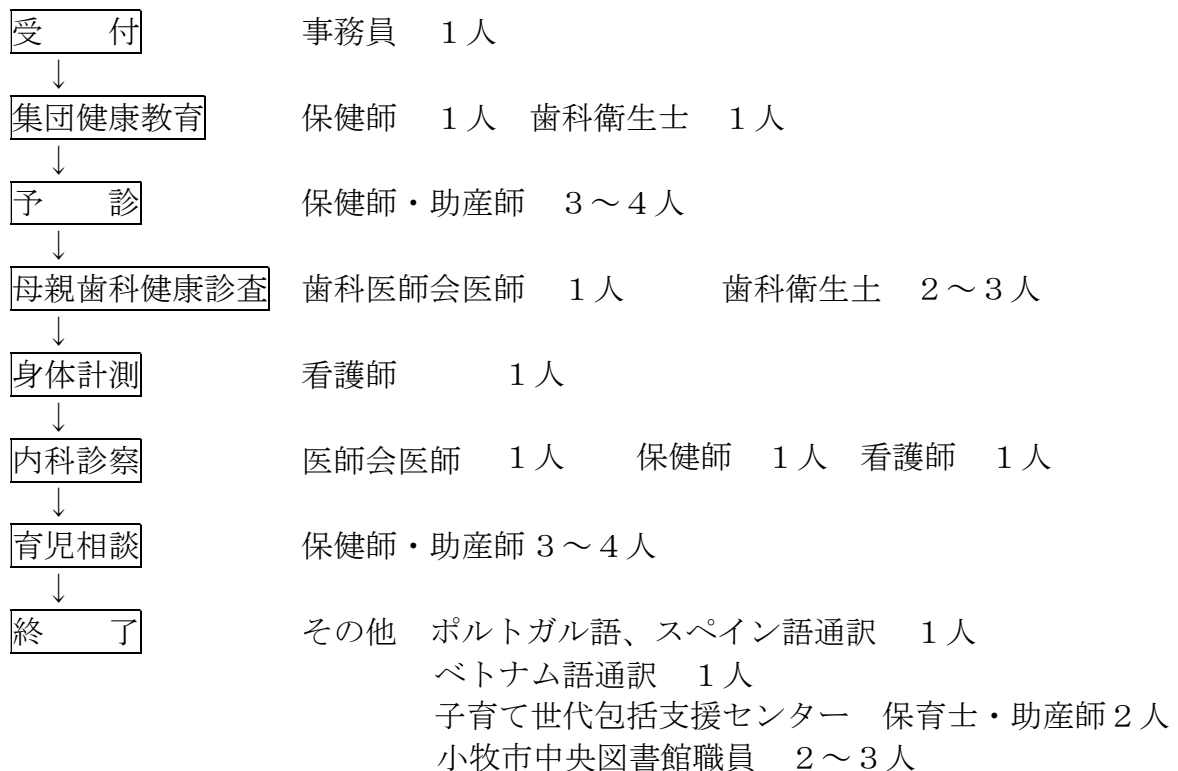
年44回

エ 周知方法

個人通知及び広報

オ 実施内容

内科診察、身体計測、集団健康教育、育児相談、母親歯科健康診査



カ 医科診察受診状況及び結果

(人)

管理区分		受診数	男	女	計
対象者数			480	444	924
受診者数			469	428	897
問題なし	D		186	149	335
疾病分類	要指導	C	187	147	334
	要観察	B	34	37	71
	要精検 要医療	要精検(A 1)	110	108	218
		要医療(A 2)	0	0	0
		要継続医療(A 3)	0	0	0
	計 (実人数)		331 (224)	292 (209)	623 (433)
保育・ 家庭環境	要指導	C	41	52	93
	要観察	B	85	77	162
	要措置	A	0	0	0
	計 (実人数)		126 (117)	129 (119)	255 (236)

※ 対象者は、問診票抽出時の人数に加えて、問診票抽出後の転入者 29名と令和4年度健診対象者で令和5年度健診受診者18名を計上しています。

キ 栄養について

(%)

年度	母 乳		混 合		人 工	
	1 か月	4 か月	1 か月	4 か月	1 か月	4 か月
R 1	47.4	54.3	47.3	28.2	5.3	17.6
R 2	45.2	51.3	47.8	29.1	7.1	19.6
R 3	38.7	45.1	52.2	31.3	8.9	23.6
R 4	35.1	41.5	55.3	30.8	9.6	27.7
R 5	31.8	34.3	57.5	31.8	10.5	31.8

ク 一般診察健康診査疾病・保育・家庭環境分類別結果

(人)

疾 病 分 類		要指導 C		要観察 B		要精検 A 1		要医療 A 2		要継続医療 A 3		合 計		
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計
1 栄養・発育	体重増加不良	10	16	4	12	25	18	0	0	0	0	39	46	85
	肥満	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	低身長	10	4	0	0	14	8	0	0	0	0	24	12	36
2 精神発達障害 ・機能障害	精神発達	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	言語発達	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3 神経・運動機能障害	頭囲・大泉門異常等	5	3	1	2	4	1	0	0	0	0	10	6	16
	運動発達異常・感覚器異常	6	3	0	0	24	17	0	0	0	0	30	20	50
	筋緊張異常	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1
	けいれん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	1	1	1	2	0	0	0	0	0	3	2	5
4 皮膚疾患	湿疹・アトピー性皮膚炎	51	25	0	0	1	0	0	0	0	0	52	25	77
	その他	12	24	0	0	1	0	0	0	0	0	13	24	37
5 骨・関節疾患	開排制限	3	16	0	6	27	59	0	0	0	0	30	81	111
	その他	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
6 循環器疾患		3	3	0	2	3	0	0	0	0	0	6	5	11
7 呼吸器疾患		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8 消化器疾患	ヘルニア	7	6	0	0	0	1	0	0	0	0	7	7	14
	その他	4	1	1	1	0	0	0	0	0	0	5	2	7
9 泌尿器・腎疾患		21	1	2	0	3	0	0	0	0	0	26	1	27
10 眼科疾患	視力障害・斜視(疑)	3	1	0	0	1	0	0	0	0	0	4	1	5
	その他	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	4
	検査未実施	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11 耳鼻咽喉科疾患	聴覚障害(疑)	28	20	9	7	1	1	0	0	0	0	38	28	66
	その他	4	2	2	2	2	1	0	0	0	0	8	5	13
	検査未実施	1	1	3	0	0	1	0	0	0	0	4	2	6
12 その他	染色体異常	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	3	3
	先天性代謝異常	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	3	0	3
	その他	15	17	9	2	1	0	0	0	0	0	25	19	44
合 計		187	147	34	37	110	108	0	0	0	0	331	292	623

(人)

保 育 ・ 家 庭 環 境 分 類		要指導 C		要観察 B		要精検 A 1		要医療 A 2		要継続医療 A 3		合 計		
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計
1 家庭環境	養育姿勢	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
	育児能力	14	19	67	48	0	0	0	0	0	0	81	67	148
	家庭環境	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	2	3
	環境	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2 生活習慣	睡眠	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2
	排泄	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	あそび・友達	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3 食習慣	哺乳	19	24	16	21	0	0	0	0	0	0	35	45	80
	離乳	4	3	2	7	0	0	0	0	0	0	6	10	16
	偏食・少食	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	食事・おやつ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4 その他	習癖	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	情緒・行動	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	その他	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	3
合 計		41	52	85	77	0	0	0	0	0	0	126	129	255

(2) 1歳6か月児健康診査

ア 目 的

親と子のかかわりの一番大切な時期をとらえ、今後も親子が心身ともに健康な生活を送ることができるよう援助する。また、軽度の障がいを発見しやすいこの時期に、見逃さずに適切な援助をしていく。

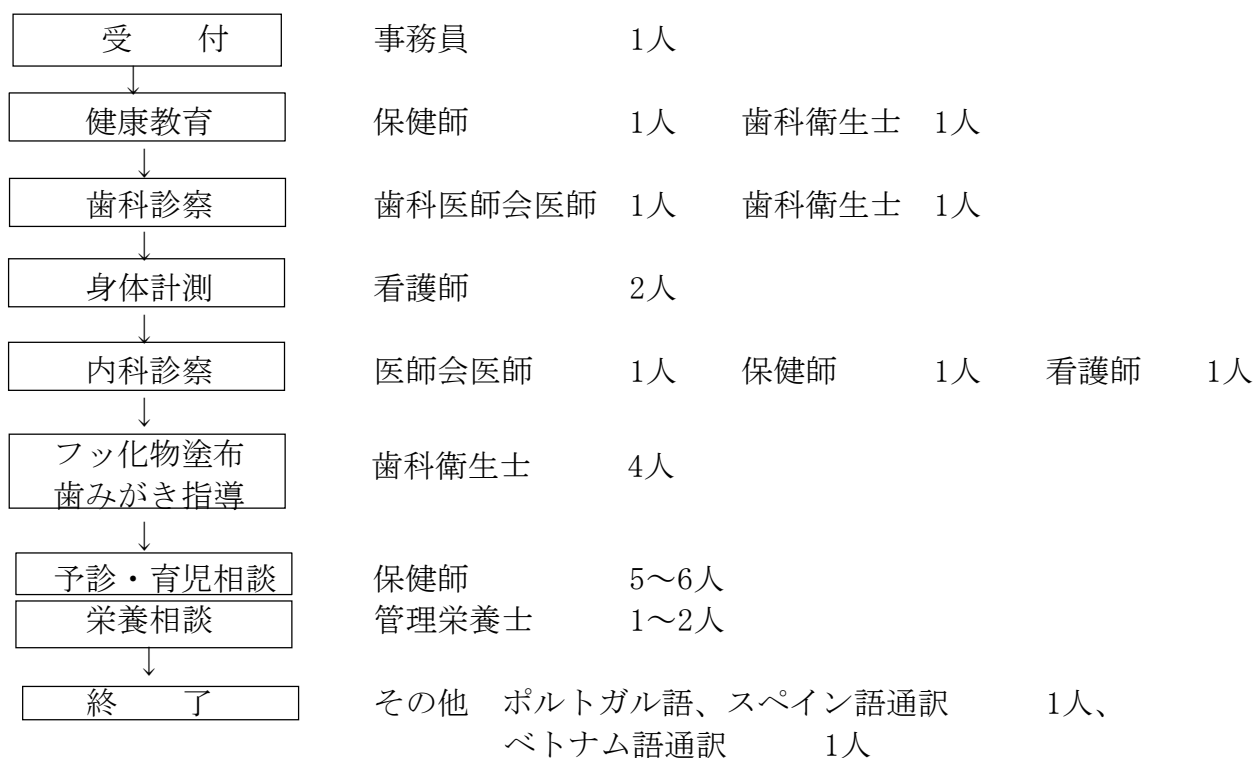
イ 対 象 市内在住の1歳6か月児

ウ 実施回数 年36回

エ 周知方法 個人通知及び広報

オ 実施内容

内科診察、歯科診察、身体計測、健康教育、成長の確認、育児相談、歯科相談、フッ化物塗布、歯みがき指導



カ 医科診察受診状況及び結果

(人)

管理区分		受診数	男	女	計
対象者数			501	491	992
受診者数			487	465	952
問題なし		D	88	152	240
疾病分類	要指導	C	92	89	181
	要観察	B	346	216	562
	要精検 要医療	要精検(A 1)	54	51	105
		要医療(A 2)	0	0	0
		要継続医療(A 3)	0	0	0
	計 (実人数)		492 (378)	356 (276)	848 (654)
家庭環境・ 保育	要指導	C	31	63	94
	要観察	B	40	31	71
	要措置	A	0	0	0
	計 (実人数)		71 (69)	94 (86)	165 (155)

※ 対象者は、問診票抽出時の人数に加えて、問診票抽出後の転入者 10名と令和4年度健診対象者で令和5年度健診受診者 23名を計上しています。

キ 一般診察健康診査疾病・保育・家庭環境分類別結果

(人)

疾 病 分 類		要指導 C		要観察 B		要精検 A 1		要医療 A 2		要継続医 療 A 3		合 計		
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計
1 栄養・発育	体重増加不良	14	11	0	0	15	15	0	0	0	0	29	26	55
	肥満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	低身長	8	11	0	0	10	19	0	0	0	0	18	30	48
2 精神発達障害 ・機能障害	精神発達	20	25	282	181	1	0	0	0	0	0	303	206	509
	言語発達	2	3	41	29	0	0	0	0	0	0	43	32	75
	その他	2	3	1	1	0	0	0	0	0	0	3	4	7
3 神経・運動機能障害	頭囲・大泉門異常等	2	5	1	0	9	4	0	0	0	0	12	9	21
	運動発達異常・感覚器異常	11	7	16	3	12	11	0	0	0	0	39	21	60
	筋緊張異常	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	けいれん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
4 皮膚疾患	湿疹・アトピー性皮膚炎	5	5	0	0	1	0	0	0	0	0	6	5	11
	その他	4	3	0	1	1	0	0	0	0	0	5	4	9
5 骨・関節疾患	開排制限	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	その他	0	1	4	1	0	0	0	0	0	0	4	2	6
6 循環器疾患		3	3	0	0	1	1	0	0	0	0	4	4	8
7 呼吸器疾患		0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
8 消化器疾患	ヘルニア	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	3
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9 泌尿器・腎疾患		7	0	0	0	4	1	0	0	0	0	11	1	12
10 眼科疾患	視力障害・斜視(疑)	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	3
	その他	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2
	検査未実施	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
11 耳鼻咽喉科疾患	聴覚障害(疑)	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2
	その他	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3	6
	検査未実施	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12 その他	染色体異常	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	先天性代謝異常	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	5	1	0	0	0	0	0	0	0	0	5	1	6
合 計		92	89	346	216	54	51	0	0	0	0	492	356	848

(人)

保 育 ・ 家 庭 環 境 分 類		要指導 C		要観察 B		要精検 A 1		要医療 A 2		要継続医 療 A 3		合 計		
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計
1 家庭環境	養育姿勢	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	育児能力	4	10	28	21	0	0	0	0	0	0	32	31	63
	家庭環境	1	0	2	2	0	0	0	0	0	0	3	2	5
	環境	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2 生活習慣	睡眠	1	0	2	4	0	0	0	0	0	0	3	4	7
	排泄	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	あそび・友達	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3 食習慣	哺乳	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	離乳	2	11	1	0	0	0	0	0	0	0	3	11	14
	偏食・少食	9	19	3	3	0	0	0	0	0	0	12	22	34
	食事・おやつ	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	3
	その他	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
4 その他	習癖	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	4
	情緒・行動	5	12	1	0	0	0	0	0	0	0	6	12	18
	その他	4	8	1	1	0	0	0	0	0	0	5	9	14
合 計		31	63	40	31	0	0	0	0	0	0	71	94	165

(3) 3歳児健康診査

ア 目 的

発達が著しく心も体も転換期を迎えて、人間としての基本が培われる時期をとらえ、成長を親と確認し、心身ともに健康な生活を送ることができるよう援助する。

また、疾病を早期に発見し、適切な治療をうけることができるよう援助する。

イ 対 象

市内在住の3歳児

ウ 実施回数

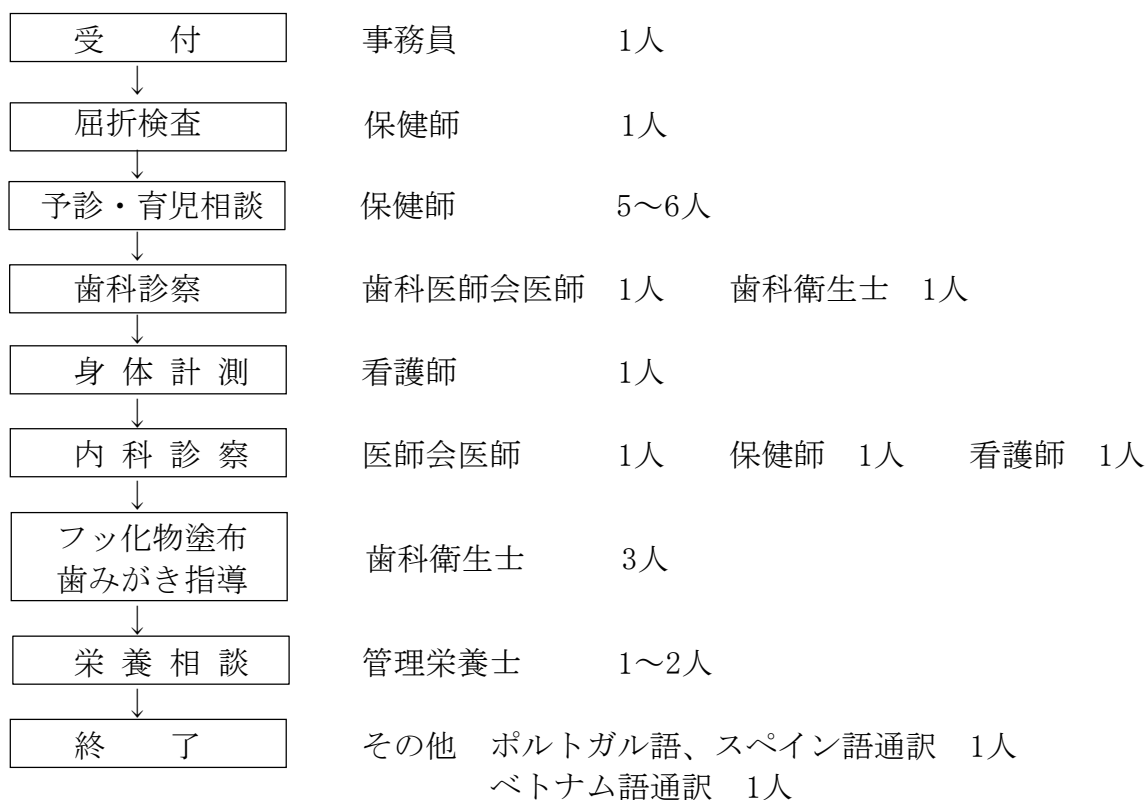
年36回

エ 周知方法

個人通知及び広報

オ 実施内容

内科診察、歯科診察、身体計測、成長の確認、育児相談、栄養相談、歯科相談、フッ化物塗布、尿検査、屈折検査（スポットビジョンスクリーナー）



カ 医科診察受診状況及び結果 (人)

管理区分		受診数	男	女	計
対象者数			547	481	1028
受診者数			528	466	994
問題なし		D	62	73	135
疾病分類	要指導	C	445	394	839
	要観察	B	246	130	376
	要精検 要医療	要精検(A 1)	304	182	486
		要医療(A 2)	0	0	0
		要継続医療(A 3)	0	0	0
	計 (実人数)		995 (449)	706 (366)	1701 (815)
家庭環境・ 保育	要指導	C	43	76	119
	要観察	B	26	10	36
	要措置	A	0	0	0
	計 (実人数)		69 (63)	86 (83)	155 (146)

※ 対象者は、問診票抽出時の人数に加えて、問診票抽出後の転入者36名と令和4年度健診対象者で令和5年度健診受診者29名を計上しています。

キ 一般診察健康診査疾病・保育・家庭環境分類別結果 (人)

疾 病 分 類		要指導 C		要観察 B		要精検 A 1		要医療 A 2		要継続医療 A 3		合 計		
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計
1 栄養・発育	体重増加不良	15	10	0	0	21	12	0	0	0	0	36	22	58
	肥満	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	3	3
	低身長	18	19	0	0	25	26	0	0	0	0	43	45	88
2 精神発達障害 ・機能障害	精神発達	43	32	220	112	1	0	0	0	0	0	264	144	408
	言語発達	9	1	13	6	0	0	0	0	0	0	22	7	29
	その他	10	8	6	5	0	0	0	0	0	0	16	13	29
3 神経・運動機能障害	頭囲・大泉門異常等	10	4	0	0	7	3	0	0	0	0	17	7	24
	運動発達異常・感覚器異常	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	2	1	3
	筋緊張異常	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1
	けいれん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4 皮膚疾患	湿疹・アトピー性皮膚炎	6	3	0	0	0	0	0	0	0	0	6	3	9
	その他	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
5 骨・関節疾患	開排制限	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1	2
6 循環器疾患		0	2	0	0	2	1	0	0	0	0	2	3	5
7 呼吸器疾患		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8 消化器疾患	ヘルニア	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1	2
	その他	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2
9 泌尿器・腎疾患		119	142	1	0	4	0	0	0	0	0	124	142	266
10 眼科疾患	視力障害・斜視(疑)	6	7	0	1	142	94	0	0	0	0	148	102	250
	その他	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2
	検査未実施	142	118	1	1	1	0	0	0	0	0	144	119	263
11 耳鼻咽喉科疾患	聴覚障害(疑)	4	1	1	0	98	44	0	0	0	0	103	45	148
	その他	1	2	0	0	1	0	0	0	0	0	2	2	4
	検査未実施	58	39	0	1	0	1	0	0	0	0	58	41	99
12 その他	染色体異常	1	1	2	1	0	0	0	0	0	0	3	2	5
	先天性代謝異常	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計		445	394	246	130	304	182	0	0	0	0	995	706	1701

(人)

保 育 ・ 家 庭 環 境 分 類		要指導 C		要観察 B		要精検 A 1		要医療 A 2		要継続医療 A 3		合 計		
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計
1 家庭環境	養育姿勢	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	育児能力	10	15	22	8	0	0	0	0	0	0	32	23	55
	家庭環境	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	環境	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2 生活習慣	睡眠	3	8	3	1	0	0	0	0	0	0	6	9	15
	排泄	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	あそび・友達	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3 食習慣	哺乳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	離乳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	偏食・少食	9	15	1	0	0	0	0	0	0	0	10	15	25
	食事・おやつ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
4 その他	習癖	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	情緒・行動	17	32	0	1	0	0	0	0	0	0	17	33	50
	その他	2	5	0	0	0	0	0	0	0	0	2	5	7
合 計		43	76	26	10	0	0	0	0	0	0	69	86	155

(4) 乳幼児健診未受診者支援事業

ア 経緯

近年全国的に、乳幼児健診や小学校・中学校入学をきっかけとして児の所在を把握し、その後担当課だけではなく横断的に状況を把握したうえで、必要に応じてその後の支援につなぐ重要性がいられている。

小牧市保健センターでも、平成24年10月から、家庭における育児力を高めるために必要な支援のひとつとして、乳幼児健診未受診者の支援体制を整備し、健診受診率の向上及び未受診者の支援に力を注いでいる。

イ 事業目的

乳幼児健診未受診者の保護者に対して受診勧奨を行い、未把握者を無くし健診受診率の向上に努める。その過程において、子どもの成長発達を確認し支援するとともに、保護者との関わりを深め信頼関係を築くことで、保護者が育児をする上で抱えている不安や問題の有無を把握して支援し、親子の健全な生活を保障していく。

ウ 未受診者抽出時期及び抽出対象者、支援対象者

(ア) 4か月児健診・1歳6か月児健診・3歳児健診未受診者

対象となる健診日から1回後の健診日までに受診しない者。

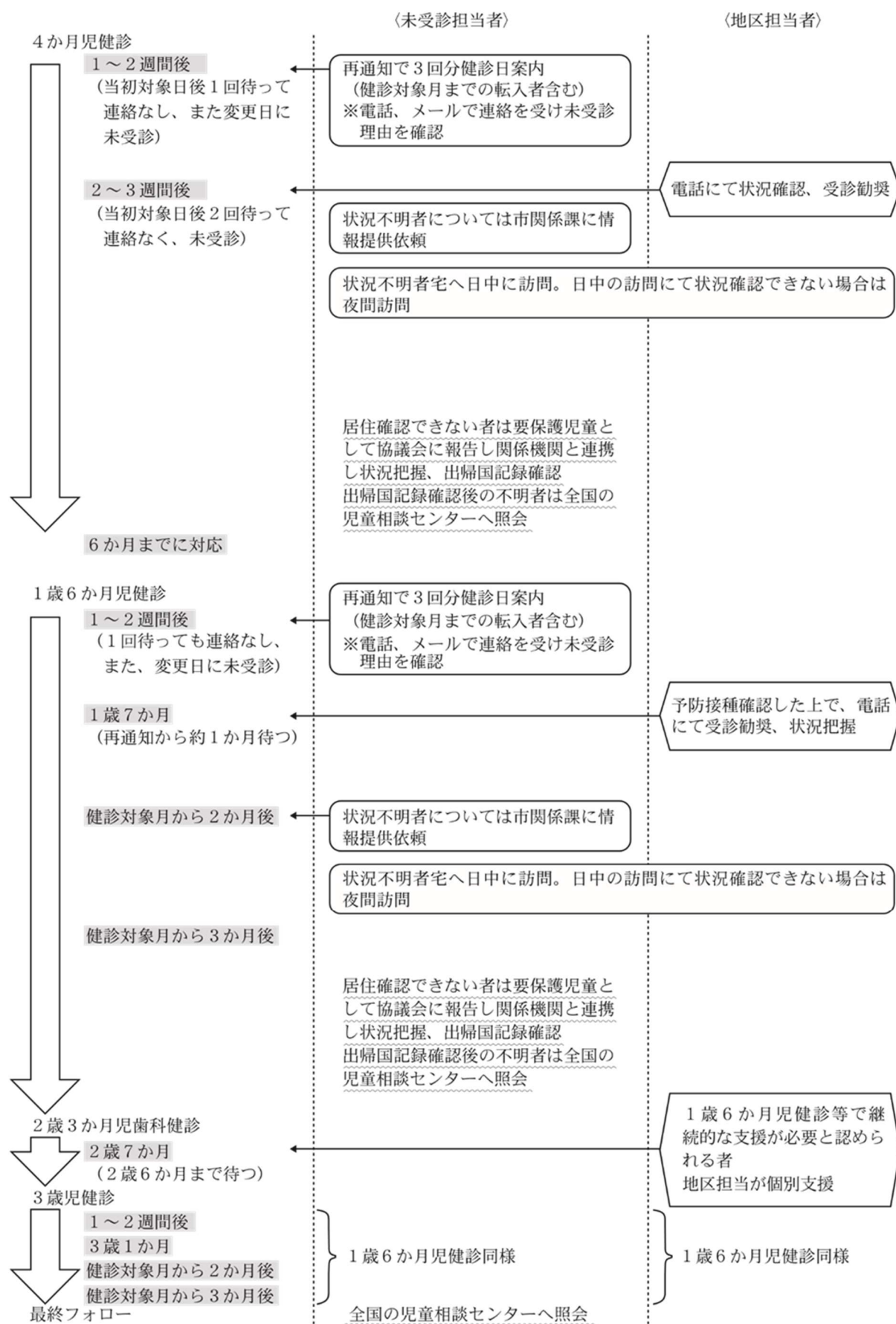
※ 受診日変更者、他機関受診、転出、海外在住等何らかの理由があつて保護者から連絡がきている者についても、その時点では抽出対象とする。しかし、受診日変更者の中で予定通り受診した者は、その後の支援対象者から除く。

※ 転入者については、「健診対象者名簿」出力後から健診対象月の末日までを未受診者としての抽出対象とする。

(イ) 2歳3か月児歯科健診未受診者

2歳6か月の健診日までに保護者からの連絡が無い未受診者の中で、1歳6か月児健診等で継続支援が必要と認められる者。

エ 乳幼児健診未受診者支援体制



オ 乳幼児健診未受診者支援結果

(ア) 未受診者支援における健診対象者

※健診対象者名簿出力後から健診対象月までに転入した者、及びその後の転入者で転入前の市町村において健診を受けていない者、住民基本台帳にて職権消除されたものを含む

a 令和4年度健診対象者

〈4か月〉 令和3年12月1日生まれ～令和4年11月30日生まれ

〈1歳6か月〉 令和2年10月1日生まれ～令和3年9月30日生まれ

〈3歳〉 平成31年4月1日生まれ～令和2年3月31日生まれ

b 令和5年度健診対象者は、令和6年度支援継続中

(イ) 未受診者支援実施時期

令和4年度健診対象日後1回健診を過ぎた日から未受診者全ての受診確認または状況把握した時期

(ウ) 結果 ※令和4年度受診対象者のみ

(人)

	4か月	1歳6か月	3歳	詳細説明
未受診者支援における健診対象者	987	1,049	1,142	受診月までの転入者、職権消除者、令和3年度未受診者を含む
未受診支援対象者	105	129	174	保護者から受診日変更連絡あり、変更日に受診した者は除く
再通知、電話、訪問により受診につながった者	50	63	83	
未受診者	55 (5.6%)	66 (6.3%)	91 (8.0%)	

(エ) 未受診者の把握状況内訳 ※令和4年度受診対象者のみ

(人)

		4 か月児健診			1 歳 6 か月児健診			3 歳児健診		
		最終結果	未受診者の把握状況比率	(再掲)本人または保護者が外国籍者	最終結果	未受診者の把握状況比率	(再掲)本人または保護者が外国籍者	最終結果	未受診者の把握状況比率	(再掲)本人または保護者が外国籍者
当市健診未受診者数		55	—	6	66	—	10	91	—	32
他市にて受診		9	16.4%	0	5	7.6%	1	9	9.9%	1
医療機関にて受診		5	9.1%	0	0	—	0	2	2.2%	0
保健師による確認		4	7.3%	0	7	10.6%	3	12	13.2%	2
※1 他に重複項目を満たす者	2 歳 3 か月児歯科健診時の育児相談にて確認				0	—	0			
	予防接種を順調に接種	0		0	0		0	0		0
	保育園等在園者	0		0	0		0	1		0
	幼稚園等在園者							0		0
情報提供により保育園在園中と確認できたため見守りを依頼		0	—	0	0	—	0	3	3.3%	1
情報提供により幼稚園在園中と確認できたため見守りを依頼								3	3.3%	2
入院中		0	—	0	0	—	0	2	2.2%	0
※2 他に重複項目を満たす者	2 歳 3 か月児歯科健診時の育児相談にて確認				0	—	0			
	予防接種を順調に接種	0		0	0		0	0		0
居住していない者		19	34.5%	1	29	43.9%	6	29	31.9%	11
※3 居住していない者の内訳	住民票おいたままで、海外に居住または海外で受診	1		0	3		0	7		4
	転出者及び職権消除者（市が出国を確認した者のみ）	18		1	24		3	22		7
	出帰国記録にて出国確認	0		0	1		3	0		0
	その他（死亡含む）	0		0	1		0	0		0
未把握者数		18	32.7%	5	25	37.9%	5	29	34.1%	15

※1, 2, 3 : 再掲

未把握者内訳		4 か月児健診		1 歳 6 か月児健診		3 歳児健診	
		最終結果	(再掲)本人または保護者が外国籍者	最終結果	(再掲)本人または保護者が外国籍者	最終結果	(再掲)本人または保護者が外国籍者
令和5年度	当市受診	14	2	18	3	18	11
	他市にて受診	0	0	1	0	2	0
	保健師による確認	4	3	1	0	6	2
	入院中	0	0	1	0	0	0
	情報提供により保育園在園中と確認できたため見守りを依頼	0	0	1	0	1	0
	転出・消除（市が出国確認済のみ）	0	0	1	0	1	1
	出帰国記録にて出国確認	0	0	2	2	1	1

5 健康教育事業

(1) 離乳食教室（初期：ごっくん教室、後期：かみかみ教室）

ア 目 的

- ・離乳食において保護者に対し、離乳食の大切さや進め方を知ってもらい、離乳食について正しい知識を伝え、家族を含めた健康づくりを考える意識を発展させる。

さらに参加者同士が交流することで、育児に関する情報交換や友達作りができる機会を提供する。

- ・乳歯が萌出しはじめ、食事の内容が変化する時期にある子とその保護者に対し、口腔内に関心が高い時期を捉え、むし歯予防に関する知識の普及を図り、歯科保健に対する知識の改善及び行動変容を促すことを目的とする。

イ 対 象 ごっくん教室(初期)：4か月児以降の保護者、赤ちゃんの出席可 かみかみ教室(後期)：9か月児以降の親子

ウ 回 数 ごっくん教室、かみかみ教室ともに年12回

エ 周知方法

- (ア) 親子健康手帳(母子健康手帳)交付時に案内文配布
- (イ) 広報・市ホームページによる案内
- (ウ) 4か月児健診時に案内文配布

オ 実施内容

- (ア) 離乳食初期・後期の講話
- (イ) 集団歯科指導（かみかみ教室のみ）
- (ウ) 個別相談、質疑応答

カ スタッフ 管理栄養士、歯科衛生士

キ 実施状況

(組)

ごっくん教室	第1子	第2子以降	計	かみかみ教室	第1子	第2子以降	計
4月12日	5	0	5	4月21日	4	0	4
5月10日	9	0	9	5月26日	3	1	4
6月7日	10	1	11	6月23日	5	1	6
7月5日	9	2	11	7月21日	1	0	1
8月2日	9	1	10	8月25日	3	1	4
9月6日	8	0	8	9月22日	7	0	7
10月4日	9	1	10	10月20日	3	0	3
11月1日	10	0	10	11月17日	5	0	5
12月6日	9	1	10	12月22日	5	0	5
1月10日	5	2	7	1月26日	4	0	4
2月7日	11	2	13	2月16日	3	0	3
3月6日	9	0	9	3月15日	6	0	6
合 計	103	10	113	合 計	49	3	52

(2) 健康教育

ア 「生と性のカリキュラム」 関係

＜高校＞「望まない妊娠と性感染症について」

対象：高校生

目的：「望まない妊娠や性感染症についての知識を持つとともに、自分や相手の生き方を大切にする気持ちをはぐくむ。

	実施年月日	実施学校名	生徒数（人）
1	令和5年6月12日	小牧高等学校（全日）	257
2	令和5年7月18日	小牧高等学校（定時）	33
3	令和5年10月24日	小牧南高等学校	277
計			567

＜中学校＞「すてきな大人になろう～性感染症について～」

対象：中学校3年生の生徒

目的：性感染症についての知識を持つとともに、男女の交際のあり方やお互い相手に思いやりを持つことの大切さを気づかせる。

	実施年月日	実施学校名	生徒数（人）
1	令和5年6月20日	小牧西中学校	74
2	令和5年6月23日	応時中学校	220
3	令和5年7月3日	桃陵中学校	120
4	令和5年7月10日	小牧中学校	232
5	令和5年7月12日	岩崎中学校	130
6	令和5年7月14日	光ヶ丘中学校	71
7	令和5年9月6日	北里中学校	117
8	令和6年2月13日	篠岡中学校	53
計			1,017

＜小学校＞「おへそのひみつ」

対象：小学校2年生とその保護者

目的：いのちの大切さを知り、かけがえのない自分を大切にできる。自己肯定感を育むことができるようにする。

	実施年月日	実施学校名	生徒数/保護者（人）
1	令和5年6月17日	本庄小学校	78/60
2	令和5年6月17日	米野小学校	108/132
3	令和5年6月28日	一色小学校	72/0
4	令和5年9月16日	篠岡小学校	38/40
5	令和5年10月12日	小木小学校	51/35
6	令和5年10月12日	北里小学校	59/55
7	令和5年11月22日	大城小学校	21/26
8	令和5年12月2日	光ヶ丘小学校	36/28
9	令和5年12月11日	味岡小学校	111/0
10	令和6年1月15日	小牧原小学校	106/0

11	令和6年1月18日	桃ヶ丘小学校	44/44
12	令和6年1月25日	小牧南小学校	110/100
13	令和6年1月26日	陶小学校	28/4
14	令和6年1月26日	小牧小学校	115/100
15	令和6年2月2日	村中小学校	39/35
16	令和6年2月3日	三ツ渕小学校	42/37
計			1,058/696

イ 職業人体験学習関係

	実施年月日	実施学校名	生徒数（人）
1	令和5年5月30日～6月1日	北里中学校	2
2	令和5年9月7日・8日	味岡中学校	2
3	令和5年9月26日・28日	小牧西中学校	2
4	令和5年11月7日～9日	桃陵中学校	2
5	令和5年11月30日～12月1日	応時中学校	2
6	令和5年12月12日～12月14日	岩崎中学校	2

ウ 管理栄養士対応健康教育（母子関係）

	実施年月日	内容	対象	人数（人）
1	令和5年7月26日	おやこの食育教室	市民	27
2	令和5年10月12日	離乳食から幼児期の食事 ～家族の食事から考える～	児童館指導員	14

(3) 生と性に関するカリキュラムの推進への取り組み

ア 自己肯定感の醸成

(ア) 4か月児健康診査の健康教育

子どもの心の成長の基本となる親子の愛着形成及び自己肯定感について4か月児健康診査時の健康教育で伝える。

(イ) 乳幼児健康診査におけるサポートプランの配布

4か月児健康診査、1歳6か月児健康診査、3歳児健康診査にて、保健師より親子の自己肯定感醸成のため、育児の見通しや保護者へのメッセージを伝え、サポートプランを配布。

(ウ) 親子で学ぶ性教育の実施

中央図書館イベントスペースにて性教育情報について展示

（令和5年7月21日～28日）また、親子教室の開催

○幼児親子対象講座「大切な自分のからだ」

参加者 子3人 保護者4人

○小学生親子対象【前思春期編】講座「いのちの授業」

参加者 子10人 保護者8人

○上記講座内容を市公式YouTubeにて配信。

イ 「安心相談カード」の配布

- ・こども政策課と協働して、相談機関に関する情報をカードで作成し、市内中学1年生と市内高校1年生に配布
- ・市内児童館・児童センターに窓口紹介ポスターの掲示
- ・市内中学校の保健室にポスターを掲示

(4) 小牧市協働提案事業「摂食障害予防啓発協働事業」

ア 目 的 若年層を対象に摂食障害についての正しい知識を身に付け、病気の予防に努める。

イ 対 象 小牧市市民

ウ 協働事業者 小牧市市民活動団体 摂食障害よりみち

エ 内 容 周知啓発用リーフレットの作成・配布
(市内中学1年生、高校1年生)
周知啓発用ポスター作成・掲示
(市内小中高校の保健室や行政機関)
予防啓発チラシの作成・配布 (市内小学6年生)
教育動画作成、配信、教室開催

	実施日	参加人数 (人)
教職員対象夏期研修	8月2日	25
経験者の話を聞く会	11月26日	オンライン含む 21
市民向け講座	1月11日	10
市民向け講座	3月16日	13

学生インタビュー

学校数 (校)	期間・回数	参加人数 (人)
3	9～11月 計8回	学生 22

6 相談事業

(1) 母乳相談

ア 目的

母親が母乳に関して持っている心配や疑問を気軽に相談でき、個々に応じた授乳方法を確立できるよう援助する。

母乳育児が親子の絆を深め、最後までよりよい状態で終了できるように、卒乳に向け援助する。

イ 対象

- (ア) 母乳育児に関して心配や疑問を持つ妊婦
- (イ) 母乳育児確立のための支援が必要な母子
- (ウ) 授乳をはじめとした育児に心配や疑問を持つ母親

ウ 実施日数

60日/年

エ 周知方法

- (ア) 広報による案内
- (イ) 親子健康手帳（母子健康手帳）交付時に母乳育児の大切さを伝えるとともに紹介
- (ウ) 市内産婦人科・小児科にポスターを設置
- (エ) 相談・訪問や4か月児健診において母乳育児に関して、心配や疑問を持っている母に対して案内

オ 実施内容

- (ア) 妊娠中からの母乳育児の取り組みと乳房の手当ての指導
- (イ) 母乳に関するトラブル等母乳育児に関する相談
- (ウ) 授乳をはじめとした育児全般に関する相談
- (エ) 卒乳に関する相談

カ スタッフ

助産師

キ 実績

	相談実人数	相談延べ人数
合計	99	161

ク 相談内容内訳

相談内容		月齢	妊婦	1か月未満	1か月～2か月未満	2か月～3か月未満	3か月～4か月未満	4か月～5か月未満	5か月～6か月未満	6か月～9か月未満	9か月～1歳未満	1歳～1歳6か月未満	1歳6か月～2歳未満	2歳以上	内容別延べ件数合計
授乳について	授乳方法		0	0	9	37	37	18	26	21	7	1	0	2	158
	母乳量・ミルク量		0	0	9	37	36	18	26	20	6	1	0	0	153
	乳房トラブル		0	0	8	32	35	14	14	13	3	0	0	1	120
	乳房ケア		0	0	8	32	31	14	10	11	8	1	0	0	115
	断乳・卒乳		0	0	0	2	8	6	10	11	6	2	0	2	47
	その他		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
児について	体重増加		0	0	9	37	37	18	26	21	9	1	0	2	160
	その他		0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	2
その他	育児		0	0	9	37	37	18	26	21	9	2	0	2	161
	離乳食		0	0	0	15	27	16	26	21	8	2	0	2	117
	母自身 (精神面含む)		0	0	6	15	9	9	11	9	3	1	0	2	65
	その他		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
月齢別相談数			0	0	58	244	257	132	176	148	59	11	0	13	1,098

(2) 市内児童館巡回育児相談、妊産婦健康相談

ア 目的

市内児童館を巡回し、子どもの発育・発達に関する相談や保護者の育児に関する相談に対して個別に支援すると共に、相談者同士が交流の場を持ちお互いに学び合える場となるよう支援する。

イ 対象

相談を希望する者（予約制）

ウ 周知方法

(ア) 広報

(イ) 親子健康手帳（母子健康手帳）交付時に案内文を配布

(ウ) 市内各児童館・産婦人科・小児科にポスターを設置

エ 実施内容

(ア) 育児相談：育児相談、身体計測（各自自由計測）

(イ) 妊産婦健康相談：健康相談、身体計測、血圧測定、尿検査

オ スタッフ

保健師、助産師

カ 実績

(人)

	年回数	乳児	幼児	妊婦	産婦	母親	計
小牧児童館	4	16	17	0	0	1	34
小牧南児童館	4	23	2	0	0	0	25
味岡児童館	4	12	13	0	0	1	26
篠岡児童館	4	10	5	0	0	0	15
大城児童館	4	5	4	0	0	0	9
北里児童館	4	10	10	0	0	0	20
西部児童館	4	6	2	0	0	1	9
計	28	82	53	0	0	3	138

キ 相談内容内訳

(件)

		身体計測(人)	相談(人)	相談内容（再掲・重複あり）											延べ利用 件数	
				発育	発達	栄養	母乳	排泄	育児	生活リズム	病気	歯科	情報提供	その他		
小 牧 児童館	乳児	17	16	16	4	8	8	0	0	0	1	4	1	3	45	95
	幼児	17	17	17	6	9	5	1	1	0	1	6	1	2	49	
	妊婦	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	産婦	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	母親	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	
小牧南 児童館	乳児	25	23	23	7	15	16	0	1	1	2	5	2	4	76	84
	幼児	3	2	2	1	1	2	0	1	0	0	1	0	0	8	
	妊婦	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	産婦	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	母親	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
味 岡 児童館	乳児	12	12	12	2	10	10	0	0	0	0	7	0	1	42	78
	幼児	14	13	13	6	6	0	0	0	0	0	7	0	2	34	
	妊婦	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	産婦	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	母親	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	2	
篠 岡 児童館	乳児	13	10	10	1	5	6	0	2	1	0	3	0	1	29	41
	幼児	14	5	5	3	3	0	0	0	0	0	1	0	0	12	
	妊婦	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	産婦	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	母親	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

大 城 児童館	乳児	12	5	5	1	4	3	1	0	0	0	3	0	0	17	29
	幼児	5	4	4	2	2	1	0	1	0	0	2	0	0	12	
	妊婦	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	産婦	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	母親	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
北 里 児童館	乳児	11	10	10	3	7	4	1	0	1	1	4	0	3	34	65
	幼児	15	10	10	3	4	3	2	1	0	1	4	1	2	31	
	妊婦	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	産婦	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	母親	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
西 部 児童館	乳児	9	6	6	0	4	3	0	1	0	0	3	0	0	17	24
	幼児	15	2	2	0	2	1	0	0	0	0	1	0	0	6	
	妊婦	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	産婦	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	母親	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
計	乳児	99	82	82	18	53	50	2	4	3	4	29	3	12	260	416
	幼児	83	53	53	21	27	12	3	4	0	2	22	2	6	152	
	妊婦	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	産婦	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	母親	2	3	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	2	4	

(3) 2歳3か月児歯科健康診査時育児相談

ア 実施回数 24回

イ 相談者数 (人)

	相談者数
男	454
女	463
計	917

ウ 分類別相談内容 (件)

	C：当日指導		B：要経過観察		計		
	男	女	男	女	男	女	合計
発 育	1	0	0	0	1	0	1
精 神 発 達	29	42	226	137	255	179	434
言 語 発 達	3	5	29	20	32	25	57
運 動 発 達	1	0	6	4	7	4	11
疾 病	1	2	2	0	3	2	5
育 児 能 力	5	10	10	17	15	27	42
生 活 習 慣	1	1	0	0	1	1	2
哺 乳 ・ 卒 乳	1	3	0	1	1	4	5
食 習 慣	5	10	0	0	5	10	15
情 緒	15	22	3	4	18	26	44
予 防 接 種	0	1	0	0	0	1	1

(4) 栄養相談

(件)

	4か月児 健診	1歳 6か月児 健診	2歳 3か月児 健診	3歳児 健診	定例外	合計
離乳食	9	2	0	0	18	29
少食	0	4	3	5	1	13
過食	0	0	0	1	0	1
食物アレルギー	0	2	0	0	0	2
偏食	0	2	8	17	3	30
遊び食べ・ムラ	0	0	0	0	0	0
間食	0	1	0	0	0	1
下痢	0	0	0	0	0	0
便秘	0	1	0	0	1	2
肥満	0	0	0	0	0	0
やせ	0	0	0	0	0	0
母乳・ミルク	0	2	0	0	0	2
水分	0	0	1	0	0	1
生活リズム	0	0	0	0	0	0
咀嚼	0	8	0	1	3	12
バランス	0	0	0	0	0	0
病態栄養	0	0	0	0	0	0
食生活	0	14	5	7	9	35
その他	0	2	1	0	1	4
合 計	9	38	18	31	36	132

(5) 母子電話相談

ア 目 的

育児相談専用電話を設置し親子の成長を支援する。

イ 電話件数

(件)

	乳児	幼児	学童	妊婦	産婦	母親	虐待	その他	計
こまねっと	5	1	5	0	0	0	0	0	11
一 般 電 話	8	15	14	0	0	0	0	0	37
合 計	13	16	19	0	0	0	0	0	48

ウ 相談内容

(件)

		こ ま ね っ と									一 般 電 話								
		乳 児	幼 児	学 童	妊 婦	産 婦	母 親	虐 待	そ の 他	計	乳 児	幼 児	学 童	妊 婦	産 婦	母 親	虐 待	そ の 他	計
発達・ 発達	発達	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	3	0	0	0	0	0	7
	精神発達面	0	0	2	0	0	0	0	0	2	0	7	7	0	0	0	0	0	14
	運動発達面	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
医 学	疾病	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	2
	病気・けが の当て	1	0	0	0	0	0	0	0	1	2	2	1	0	0	0	0	0	5
	妊娠・出産	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	予防接種関係	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	歯科(う歯 等)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
基本的 生活習慣・ 育児	睡眠	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	2
	排泄	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	3
	食事	2	1	1	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	哺乳関係	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	歯科 (仕上げ磨き 等)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	20	0	0	0	0	0	0	29
	情緒	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	育児一般	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	習癖	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
	家庭環境	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	友達関係	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他	情報提供(健 診・病院・ サークル関 係)	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	虐待	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	0	0	0	0	0	3
計		5	1	5	0	0	0	0	0	11	17	35	14	0	0	0	0	0	66

エ 栄養電話相談（管理栄養士対応）

（件）

相談内容	電話相談 (相談者から＋栄養士から＋こまねっと＋育児相談)
離乳食	65
少食	4
過食	1
食物アレルギー	2
偏食	3
遊び食べ・ムラ	0
間食	0
下痢	0
便秘	1
肥満	0
やせ	0
母乳・ミルク	6
水分	1
生活リズム	0
咀嚼	2
バランス	0
病態栄養	3
食生活	34
その他	6
合計	128

(6) 臨床心理士による相談

ア 目 的

- (ア) 児の精神発達を確認し、親に対して生活でのかかわり方を指導し、今後の児の発達を促す。
- (イ) 父母の育児状況を確認し育児相談を実施することにより、今後の児の発達を促す。

イ 対 象

- (ア) 各種乳幼児健康診査において発達相談の必要があると思われた児
- (イ) 電話相談・訪問等で発達相談の必要があると思われた児

ウ 講 師 臨床心理士 1人

エ 実施内容 発達相談

オ 実施回数 年94回（1回につき3件）

カ 相談利用者における問題点、処遇の内訳 (件)

項目	件数	処遇内容									
		当日のみ	次回発達相談	保健師対応	なかよし教室へ	おひさまサロンへ	療育の場へ	次回健診へ	児童館等	医療機関へ受診	その他
言語発達	103	6	2	43	13	0	7	26	1	5	0
発音	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
どもり	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
全体の発達	56	11	1	31	2	0	3	6	0	0	2
理解	5	1	1	2	0	0	1	0	0	0	0
落ち着きがない	26	8	0	6	4	0	0	8	0	0	0
対人関係	9	3	0	5	0	0	1	0	0	0	0
コミュニケーション	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
人見知りが強い	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
かんしゃくが強い	16	3	0	6	1	1	0	5	0	0	0
こだわりが強い	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
情緒面	2	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0
集団適応	5	3	0	2	0	0	0	0	0	0	0
育児	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
乱暴	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
かみつки	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
きりかえ	4	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0
計	229	39	5	98	20	1	12	46	1	5	2

延相談件数	229 件
実相談件数	222 件

(7) 運動発達相談

ア 目 的

運動発達等に遅れのある子どもへのかかわり方を、親に対して指導することにより発達を促していく。

また、受診が必要な場合にはその行動がとれる親になれるように指導する。

イ 対 象

乳幼児健診、育児相談、訪問、なかよし教室・おひさまサロン等で、運動発達に関して相談が必要と思われる子どもと親

ウ 講 師 作業療法士 1人

エ 実施内容 運動発達相談

オ 実施回数 年12回

カ 内 訳

個別面接(件)	訪問(件)	なかよし教室 おひさまサロン(回)
58 (5)	0	0

※()内は再来の掲載

キ 相談内容、処遇の内訳

(ア)0か月～9か月

(件)

	計	当日のみ	運動発達 相談継続	保健師 フォロー	すくすく 広場へ	なかよし 教室へ	療育へ	次回 健診へ	医療機関 受診へ	その他
そり返りについて	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
首すわりについて	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
寝返りについて	2	0	0	2	0	0	0	0	0	0
お座りについて	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0
ずりばい・ハイハイについて	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
つかまり立ちについて	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1人歩きについて	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
全体の発達	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
疾病に伴う発達	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他(足底をつきたがらない、変化が嫌い など)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(イ) 10か月～1歳6か月

(件)

	計	当日のみ	運動発達 相談継続	保健師 フォロー	すくすく 広場へ	なかよし 教室へ	療育へ	次回 健診へ	医療機関 受診へ	その他
お座りについて	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0
ずりばい・ハイハイについて	5	0	1	4	0	0	0	0	0	0
つかまり立ちについて	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1人歩きについて	5	0	0	3	0	0	0	2	0	0
歩き方について	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
身体の使い方について	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
全体の発達	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0
疾病に伴う発達	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他(足底をつきたがらない、変化が嫌いなど)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(ウ) 1歳6か月以降

(件)

	計	当日のみ	運動発達 相談継続	保健師 フォロー	なかよし 教室へ	療育へ	次回 健診へ	医療機関 受診へ	その他
つかまり立ちについて	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1人歩きについて	8	0	0	8	0	0	0	0	0
歩き方について	20	3	0	13	0	2	2	0	0
身体の使い方について	11	6	0	4	0	0	1	0	0
全体の発達	2	0	0	2	0	0	0	0	0
疾病に伴う発達	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他(足底をつきたがらない、変化が嫌いなど)	1	0	0	1	0	0	0	0	0

(8) なかよし教室

ア 目 的

親子がいろいろな遊びを経験し、人とのかかわりを持つ中で、親が我が子の成長・発達に気付いたり、確認したり、親子のかかわりの楽しさを共感したりすることで、親子関係の大切さを知り、豊かな生活を送ることができる。

- (ア) 親が子どもの姿（個性）を客観的に見つめ捉えることができる。
- (イ) 親が子どもの姿（個性）に合わせたかかわり方ができる。
- (ウ) 親が自己肯定感を高めて子育てに生かすことができる。

イ 対 象

発達に関して援助が必要な子どもの親

付き合いにくさ、かかわりづらさを持つ子どもの親

子どもとの付き合い方を学びたい親

ウ スタッフ及び助言者

スタッフ：保健師、保育士、看護師

助 言 者：あさひ学園指導員

(療育的視点) (1クールに1回助言者として参加)

発達相談：心理相談員が担当 (1クールにつき1回)

エ 援助方法

アー(ア)に対して

- ① 親が子どものありのままの姿（行動）を見つめる事ができるように、子どもと一緒に行動することを伝える。
- ② 行動の中で子どもの表情、働きかけに対しての反応、どんな行動、どんな声、言葉が聞かれたか等、親が子どもの行動を振り返ることができるようにする。
- ③ スタッフが子どもにかかわった時の子どもの姿（反応）を親に伝える（子どもの個性を伝える）。
- ④ 親と子どもが楽しくかかわることができる様子が見られる場面やその姿を共有する。
- ⑤ 客観的意見等を聞いて、親が子どもの個性に気づけるように子どもの姿を親と共に考える。

アー(イ)に対して

- ① 子どもの行動に親が合わせていけるように、子どもと一緒に行動することを伝える。
- ② 子どもと親が楽しくかかわることができる場面の設定をする。また親が主体であると意識できるような設定をする。
- ③ 親が子どもの表情や態度を見て子どもの気持ちを感じ取り、共感・対

応ができる親になれるように子どもの様子やかかわり方を助言する。

- ④ 親がかかわりづらいと思っていることを具体化し、かかわり方のノウハウを提供し、また今後参加できる場（療育、おひさまサロン、児童館等）の情報提供をする。

アー(ウ)に対して

- ① 教室の中で子どもとの関係において、子どもの受け止め方やかかわり方など、場面を通して親を認めそのことを伝える。
- ② 親が主体であることを親とスタッフ間の共通認識とする。（必要以外は手出し、口出しをしない。）
- ③ 親に対して自信を持って子育てできるように、親自身の自己肯定感が高まるように働きかける。また子育ての不安の緩和を図る。
- I うまくいった体験・対応を繰り返す。
- II できていることを認める。
- III 居心地の良い教室を運営する。

オ 実施内容

自由遊び、親子遊び、飲水、助言者による個別相談（必要に応じて）、カンファレンスでのケース検討会

カ 実施状況

42回／年（1コース6回、年7クール実施）

実施月	回数(回)	参加児(人)	延参加児(人)
4・5月	6	14	67
6・7月	6	17	70
7・8月	6	11	45
9・10月	6	13	67
10・11月	6	13	61
12・1月	6	13	67
2・3月	6	13	59
計	42	94	436

(9) おひさまサロン

ア 目的

親がなかよし教室で感じ取った体験（親子で楽しい体験、子どもの表情が変わった、どんなことが好きか等）をもとに、より具体的にその子に応じた働きかけやかかわり方を学び、毎日の生活に生かしていくことができるよう支援する場となる。

また親には、子どもに本来備わっている「育つ力」が十分発揮できるようなかかわりができていることを伝え、子育てに自信が持てるよう支援する。自己肯定感を高める。

イ 対 象

なかよし教室終了後、より具体的な子どもとの付き合い方、働きかけ方（例えば、日常生活面や他児とのかかわり方等）を学びたい親。

ウ スタッフ及び助言者

スタッフ：保育士、保健師

助 言 者：保健師（親支援やカンファレンスの必要時）

エ 援助方法

(ア) なかよし教室の様子をもとに、地区担当保健師が親と話し合い（親が具体的に知りたいことや子どもが獲得するとよい力、親が獲得する育児姿勢等）、参加目的を明確化する。

(イ) 参加目的に沿った支援をする。また、親に対して自信をもって子育てできるように親自身の自己肯定感が高まるように働きかける。また、子育ての不安の緩和をはかる。

① うまくいった体験を繰り返す。

② できていることをほめる。

③ 安心して参加できる場を提供する。

④ 他の親子が成功している場面・かかわり方を紹介する。

(ウ) 子ども自身が、付き合いにくさ、かかわりづらさという個性をもつので、子どもが楽しい遊びを展開できるように援助する。また、親に助言をしていく。

(エ) 参加目的を評価する機会を（継続は4か月まで）設ける。

(オ) 保育士、地区担当保健師の役割

保育士：・親子の参加目的を知り、親のかかわり（親の姿勢）に焦点をあてたアドバイスをする。

・親の育児の頑張りを認め、親の自己肯定感を育てる。

保健師：・なかよし教室での評価をもとに、おひさまサロンに参加する目的を一緒に考える。

・親の育児の頑張りを認め、親の自己肯定感を育てる。

オ 実施内容

自由遊び、親子遊び、課題を持った遊び、基本的な生活習慣への働きかけ、カンファレンスでのケース検討会

カ 実施状況

実施回数	30 回
実参加児数	29 人
延参加児数	158 人

(10) すくすく広場

ア 目 的

ふれあい遊びを経験することで、こころを通わす喜びを感じ、日常生活に生かす。子育ての不安が緩和され、おだやかな気持ちで育児に取り組める。

イ 対 象

子どもとのかかわり方を知りたい親
子育てに不安を持つ親
(4か月児健診以降1歳前後まで)

ウ スタッフ

保育士

エ 援助方法

安心して参加できる場を提供する。
親の頑張りを認める。
子どもに合ったかかわり方を親と共に考える。
子どもが喜ぶ遊びを親と共有する。

オ 実施内容

自由遊び、親子遊び、スタッフとの個別相談

カ 実施状況

実施回数	12 回
実参加児数	23 人
延参加児数	26 人

7 訪問事業

(1) 保健センター保健師による妊婦・産婦・乳幼児訪問

ア 目 的

- (ア) 親子の健やかな成長を支援する。
- (イ) 出産前後の妊婦・産婦の時期からかわりを持つことにより、信頼関係を築き、出生後の母子の健康の見守り、育児の支援につなげる。
- (ウ) 育児に悩んでいるもしくは適切な養育が困難な状況で、保健センターや他の地域資源を利用できない家族へ支援する。

イ 対 象

家族の希望や、乳幼児健康診査（健康診査未受診者含む）、電話相談等で必要が感じられた親子

ウ 訪問件数

(ア) 乳 児	274件
(イ) 幼 児	224件
(ウ) 妊 婦	36件
(エ) 産 婦	66件
(オ) 精神保健福祉	106件
(カ) 難 病	2件
(キ) その他	125件
合 計	833件

エ 把握動機及び支援内容

(件)

事例把握動機	ケース連絡	病院から	67
		児童相談所から	4
		保健所から	0
		保育園等・こども政策課から	18
		他市から	146
	妊娠届出時		290
	低体重児届出時		1
	未熟児訪問		1
	新生児訪問		10
	連絡員から		4
	4か月児健診		45
	10か月児アンケート		0
	1歳6か月児健診		48
	2歳3か月児健診		20
	3歳児健診		23
	事後健診		0
育児相談・発達相談・電話		41	
その他		115	
計			833

(件)

支 援 内 容		児の成長確認	467
		育児状況	467
		身体計測	259
	援 助	受け止め	290
		ことば	79
		あそび	162
		食事	116
		排泄	14
		清潔	23
		生活リズム	69
		授乳について	186
		その他	63
	情 報 提 供	育児に関すること	331
		社会資源・医療機関・児童館	336
		予防接種	143
		センター事業勸奨	191
その他		108	
虐待予防		40	
計			3,344

※重複記載あり

(2) 助産師による妊婦・産婦・新生児・乳児訪問

ア 目 的

相談支援が必要な者に対して、妊娠・出産、産後の不安の強い時期よりかわりを持つことにより信頼関係を築き、今後育児を進めていく上で、1人で悩まず、相談機関の活用等問題解決に向けて行動のできる親となるよう支援する。

イ 対 象

- (ア) 親子健康手帳（母子健康手帳）交付時の面接で不安の強そうな母
 - (イ) 親子健康手帳（母子健康手帳）交付時アンケートより
 - ①既往歴により精神的な疾患等問題を持つ母
 - ②母乳育児の意思をもった母
 - ③相談者、協力者のいない母
 - (ウ) 妊婦健康診査受診票より妊娠高血圧症候群、尿糖などがみられる母
 - (エ) 若年、高齢出産の母
 - (オ) 多胎児や低体重児を出産した母
 - (カ) 関係機関より継続支援依頼があった母
 - (キ) 「連絡員赤ちゃん訪問」を実施後、保健連絡員・OBを通して訪問依頼のあった母
 - (ク) その他母親からの訪問依頼のあった時
- 上記の(ア)～(カ)の対象に対しては、電話等にて母子の生活や育児状況等を確認し、必要に応じて訪問につなげる。

ウ スタッフ

助産師 9人

エ 周知方法

- (ア) 広報
- (イ) 市内産婦人科にポスターを設置
- (ウ) 親子健康手帳（母子健康手帳）交付時に案内文を配布
- (エ) 出生届受理時にチラシの配布

オ 実績

- (ア) イ対象のうち、(ア)～(カ)の対象者への助産師電話相談実績 (人)

相談対象者数	電話相談数	つながらない等
355	355	0

- (イ) 電話相談内容内訳 (重複あり) (件)

育児	母乳	兄弟関係	その他	情報提供	計
0	0	0	0	10	10

※小牧市すくすく応援事業の伴走型支援の開始に伴い育児相談は訪問で対応

(ウ) 電話相談方向性内訳

(人)

助産師訪問へ	母乳相談へ	継続支援へ	電話相談で終了	計
285	0	60	10	355

カ 低体重児把握数

(人)

把握総数	500g 未満	500g～ 999g	1,000g～ 1,299g	1,300g～ 1,499g	1,500g～ 1,799g	1,800g～ 1,999g	2,000g～ 2,299g	2,300g～ 2,499g
88	3	1	3	0	6	5	26	44

キ 妊婦・産婦・新生児・乳児訪問実績

(人)

	新生児	乳児	産婦	妊婦
実人数	70 (17)	772 (75)	823	0
延人数	82 (22)	1,008 (212)	1,050	0

* () 内は実施件数内の低体重児の人数

ク 把握動機

(人)

把握動機	人数
低体重届出書より	72
母より申し込み（電話・来所含む）	496
保健師からの電話	30
助産師からの電話	219
赤ちゃん訪問	0
病院からの連絡	12
他の保健機関からの連絡	20
前回の訪問から	238
その他	3
計	1,090

ケ 相談内容

	内 容	件数		内 容	件数
哺乳について	母乳が出ているか・足りているか	636	育児について	泣き・ぐずりについて	394
	授乳方法(抱き方・含ませ方・授乳間隔など)	540		抱き癖について	47
	乳頭の形状による授乳困難など	144		指しゃぶり・おしゃぶりについて	130
	排気・溢乳・吐乳について	447		部屋の養育環境について	119
	ミルクについて(足し方・ミルク量など)	672		衣服・オムツについて	124
	乳房トラブルについて	176		沐浴・お風呂・スキンケアについて	252
	乳汁分泌・促進方法について	153		児の生活リズムについて	177
	授乳中の食事について	102		外出・外気浴について	161
	その他	22		旅行について	24
児の体について	発育(体重増加)について	1,041	育児について	遊び方・関わり方(赤ちゃん体操含む)	139
	スキントラブル(湿疹・オムツかぶれなど)	297		上の子との関わりについて	303
	黄疸について	32		離乳食について	69
	頭の形・向き癖について	457		その他	38
	視点・目つきなどについて	16	母について	母の疾患について	87
	眼脂について	20		母の体調について	213
	鼻汁・鼻閉・くしゃみ・咳・いびき・うなりなど	250		食事・睡眠について	147
	舌小帯について	3		育児不安・大変さについて	198
	血管腫・あざについて	59		育児協力者・相談者がいない	63
	臍について(ヘルニアを含む)	115		家族の生活リズムについて	88
	便・尿について	435		家族との関係(夫・母など)について	87
	包茎・陰嚢水腫について	104		仕事と育児について	245
	股関節脱臼・開排制限について	483		飲酒について	5
	アレルギーについて	29		喫煙(本人・周り)について	16
	児の疾病について	19		家族計画・避妊について	13
	その他	57		その他	10
情報提供	保健事業・社会資源について	912	計		11,972
	かかりつけ医・病院について	751			
	予防接種について	842			
	その他	9			

(3) 管理栄養士による訪問

ア 目的

実際の家庭状況や食事状況を把握することにより、親が食生活への意識を築き上げ、児の成長につなげることができるよう支援する。

イ 対象

家庭の事情により、保健センターに来所できない親子。また、児の食生活支援のために、実際の食事状況を確認する必要が感じられた親子

ウ 訪問件数 25件

8 小牧市中学生ピロリ菌検査事業

(1) 目 的

慢性胃炎、胃・十二指腸潰瘍及び胃がんの原因であるピロリ菌を早期に発見し、将来の慢性胃炎、胃・十二指腸潰瘍及び胃がん予防に役立てる。また、中学校で「がん予防」を学習する機会に合わせてピロリ菌検査を行う事で、生徒が健康に興味関心を持ち、その後の健康の保持・増進につなげることを目的とする。

(2) 対 象

ピロリ菌検査を受ける日時点において市内に住所を有する中学2年生で、本人及びその保護者が検査を受けることに同意し、所定の申込書(同意書)により申し込みをした者。

(3) 内 容

検査内容・希望について市内中学校(チラシ配布・テトル配信)、広報、ホームページ、SNS、デジタルサイネージ等を通じて周知・募集を行った。令和5年度より申請書(同意書)との併用でLogoフォーム受付を開始した。検査希望者に対し、下記検査を行った(一次・二次検査は無料)。

ア 一次検査…市内中学校・もしくは保健センターにて回収【令和5年11月】

尿検査：尿中抗体検査

尿採取した検査キットを委託業者にて検査し、検査結果用紙を郵送

検査結果：陰性(今回の検査では特に感染を認めません)

陽性(ピロリ菌感染の可能性があります)

検査結果の陽性者に対し結果説明チラシと二次検査受診勧奨を行った

イ 二次検査…市内医療機関に予約し受診【令和5年12月～令和6年3月】

便検査：便中ヘリコバクターピロリ抗原検査

市内検査実施医療機関に受診し(1)医師による問診(2)便中抗原検査を実施

検査結果：陰性、陽性

検査結果は医療機関・保健センターより説明の上返却。

検査結果の陽性者に対しては、今後消化器症状があった際は速やかに受診する事、胃がん検診を積極的に受診する事等を伝えた。

※積極的治療を希望された場合：自由診療(実費)となる旨、胃内視鏡検査等が必要となる等の説明・相談対応を行った。

(4) 実 績

区分	対象者(人)	受検者(人)	受検率(%)	陽性者(人)	陽性率(%)
1次検査	1,459	872	59.8	28	3.2
2次検査	28	21	75.0	7	33.3

9 外国人通訳の配置

(1) 目 的

外国人の方々に各種健康診査、健康相談・育児相談、予防接種など通訳を通じて十分かつ、正確な情報を得てもらい、心配や不安の軽減をはかる。

(2) 対 象

日本語がわからない外国人

(3) 通訳人数

2人

(4) 通訳の対応言語

ポルトガル語、スペイン語、ベトナム語

(5) 通訳来所日

ポルトガル語・スペイン語：火～金（9時～16時30分）

ベトナム語：火・水・金（13時～16時30分）

(6) 各種健康診査外国人対象者及び受診者数通訳対応状況 (人)

健 診 内 容	対 象 者			受 診 者				
	外国人	(再掲)	(再掲)	外国人	(再掲)	(再掲)	(再掲)	(再掲)
		ポルトガル語 スペイン語	ベトナム語		ポルトガル語 スペイン語	ポルトガル語 通訳対応	ベトナム語	ベトナム語 通訳対応
4 か月児健康診査	91	37	23	85	30	28	23	23
1 歳 6 か月児健康診査	96	42	23	91	36	34	19	19
3 歳児健康診査	95	47	21	102	49	45	24	19
2 歳 3 か月児歯科健康診査	94	41	29	70	35	33	21	0
合計	376	167	96	348	150	140	87	61

(7) その他 通訳対応状況 (人)

	通訳対応	(再掲) ポルトガル語 スペイン語	(再掲) ベトナム語
来所者対応	454	343	111
電話対応	327	255	72

10 産後ケア事業

(1) 目 的

産後に心身の不調又は育児不安があり家族から支援が得られない産婦とその児を対象に、心身のケアや育児サポートを行い、安心して子育てができるよう支援することを目的とする。

(2) 対 象

市内に住所を有する産後4か月未満の母親及び生後4か月未満の乳児（アウトリーチは12か月未満）で、下記のいずれにも該当する者。

- ① 母親が体調不良や育児不安がある者
- ② 家族等から育児にかかる十分な援助が受けられない者
- ③ 感染症疾患（麻疹、風疹、インフルエンザ等）に罹患していない者
- ④ 母親に心身の不調があり、医療行為が必要でない者

（ただし、医師が事業において対応が可能であると判断した者は除く）

(3) 内 容

利用日数はショートステイ、デイケア、アウトリーチを合算して7日を上限とする。

ア ショートステイ（10時～翌16時：1泊2日4食（一泊延泊ごとに3食追加））

対象者を宿泊させ、休養の機会を提供するとともに、心身のケア、育児サポート等のきめ細かい支援を実施する。

イ デイケア（10時～16時：1食付）

対象者に日帰りで施設を利用させ、休養の機会を提供するとともに、心身のケア、育児サポート等のきめ細かい支援を実施する。

ウ アウトリーチ（9時～17時のうち3時間程度）

対象者の自宅等に助産師が訪問し、休養の機会を提供するとともに、心身のケア、育児サポート等のきめ細かい支援を実施する。

(4) 実 績

ア 内容別

ショートステイ利用日数		デイケア利用日数		アウトリーチ利用日数	
実人数	延日数	実人数	延日数	実人数	延日数
45 組	148 日	12 組	19 日	77 組	190 日

イ 利用日数別

(人)

ショートステイ						デイケア	アウト リーチ	計 (延人数)
1泊2日	2泊3日	3泊4日	4泊5日	5泊6日	6泊7日			
31	16	3	0	2	2	19	190	263

※1人で複数回利用した人は、それぞれでカウント

(5) 契約機関 (10機関)

小牧市民病院	愛助産院
エンゼルレディースクリニック	ほのぼの助産院
ミナミクリニック	助産院マザーリーフ
かすがいマタニティクリニック	山中助産院
森永産婦人科	澤野助産院

(6) 産後ケア事業 利用者アンケートのまとめ (回答 160人)

ア 利用してよかった点 (複数回答)

休息が取れた	105人
相談ができた	118人
母乳ケアや授乳の仕方に関する指導	103人
沐浴の仕方に関する指導	10人
その他	

- ・授乳の仕方や沐浴の仕方など母子同室が出来なかったため不安なことが多くあったが、産後ケアを利用して不安なことを相談することができたことや休息が取れたことが良かった。
- ・疲れて子どもがかわいいと思えなくなっていたが、預かってもらっている間、離れることができたのでまたかわいいと思えるようになった。
- ・疲れて育児に行き詰まっていた。1泊だけではあったが、娘と離れることができ、気持ちもリフレッシュすることが出来た。
- ・近くに頼れる親族がいない状況なので、ショートステイの制度は本当にありがたい。
- ・産後子どもを長時間預けることがなかったので、久しぶりにゆっくり自分の自由な時間が取れて嬉しかった。
- ・ゆっくりお昼を食べることができたし、体を休めることもできたのでとても良かった。
- ・声の掛け方、遊び方の見本を見せてくれた。
- ・助産師さんと会話ができたこと。
- ・自分のリフレッシュにもなり、明るい気分になれた。

- ・2人目出産後、思うように出かけられないので訪問での相談、指導が大変ありがたかった。
- ・母乳外来に息子連れて行くのは大変なので、自宅で母乳ケアを実施してもらえるのはありがたかった。
- ・いつでも相談できる助産師さんが近くにいてくれることがこんなに心強いとは思わなかった。いつも悩んだらネット検索して、あまり解決せず不安になっての繰り返しだったので、すごくありがたかった。
- ・明るい助産師さんで、子どもとの関わりについても大変勉強になった。見て学んだことを生かそうと、産後ケアのあとはいつも新しい気持ちで子どもと向き合えたと思う。
- ・話を聞いてもらえることで、リフレッシュできた。
- ・ゆっくり休むことができてよかった。
- ・心身ともに疲れていたのもとても助かりました。

イ 事業を利用前よりも、ゆったりとした気分でお子さんとすごせるか。

はい	143人
いいえ	2人
なんとも言えない	15人

ウ 今後、困ったことがあれば相談しようと思えるか。

はい	159人
いいえ	0人
なんとも言えない	1人

11 1stアニバーサリー事業

(1) 目 的

1歳のお誕生日に絵本などをプレゼントし、お子さんの成長をお祝いし、その機会に育児相談や情報提供を行うことで保護者の育児不安を取り除くことを目的とする。また、子育て世代包括支援センターや児童館を利用したことのない親子が、当事業をきっかけに今後も施設を利用し、継続的な支援につながることを期待している。

1stアニバーサリー事業をセカンドブック事業としても位置付け、読み聞かせを通して、愛着形成を促し親と子の自己肯定感を育む。

(2) 対 象

市内に住所を有する1歳児とその保護者

(3) 内 容

ア 絵本

イ エプロンタオル

ウ バースデーカード兼図書館員からのメッセージカード

エ 1歳のサポートプラン

(4) 実施結果

ア 通知者数

令和4年6月生まれ～令和5年5月生まれ 953人

イ 利用者数 (令和5年4月1日～令和6年3月31日) (人)

	子育て世代包括支援センター	小牧児童館	小牧南児童館	味噌児童館	北里児童館	西部児童館	篠岡児童館	大城児童館	合計
計	592	27	46	58	19	20	16	29	807
外国人（再掲）	44	1	2	1	0	2	1	0	51
初回利用者（再掲）	136	4	11	4	6	6	6	9	182

(5) 主な相談内容 (件)

相談なし	相談あり									処遇		
	基本的 生活習慣	育児 方法	環境	発育・ 発達	医学	情報 提供	支援・ 保護	その他	計	助言・ 指導	見守り・継続	
											各児童館で 見守り ・継続	地区担当保 健師や子育 て世代包括 支援センタ ーで継続 (再掲)
192	339	82	22	76	20	45	0	31	615	449	166	99

12 利用者支援事業（母子保健型）

(1) 目 的

妊娠・出産・育児期にわたる様々な悩みに対して切れ目ない支援体制を整備することを目的として、相談支援を行い、安心して妊娠・出産・子育てができる環境を作ることを目的とする。

(2) 対 象

相談希望者（面接・電話・訪問・メール・オンライン・手紙）

(3) 内 容

妊娠・出産・育児にわたる相談全般

(4) 実 績

ア 相談方法別 (件)

面接	電話	訪問	メール	手紙	オンライン	計
329	892	31	12	6	1	1,271

イ 相談内容別 (件)

相談あり										処遇	
基本的生活習慣	育児方法	環境	発育・発達	医学	情報提供	支援・保護	妊娠SOS	流産・死産	その他	助言・指導	見守り・継続
188	59	169	97	70	554	19	84	2	29	344	694

ウ こまき妊娠SOS関係の相談（再掲）

実人数 18人、延相談件数 84件

エ 流産・死産等に関する相談（再掲）

実人数 2人、延相談件数 2件

13 小牧市すくすく子育て応援事業

(1) 目 的

核家族化が進み、地域のつながりも希薄となる中で、孤立感や不安感を抱く妊婦・子育て家庭も少なくない。全ての妊婦・子育て家庭が安心して出産・子育てができる環境を整えるために、伴走型相談支援の充実と経済的支援を一体型で実施する。

(2) 対 象

全ての妊婦及び子育て家庭

(3) 実施内容

ア 伴走型相談支援（面談）

- ・妊娠届出時（転入者含む） 1,070名
 - ・妊娠8か月時（アンケートを実施し希望者に面談を行う）
アンケート回答数：561名 うち相談希望者：63名
 - ・出生届出から乳児家庭全戸訪問までの間
出産後アンケート回答数：785名 うち相談希望者：166名
- ※随時の相談受付等を継続的に実施。

イ 経済的支援：令和5年2月1日以降に妊娠届出をし、出生した子を養育する者ただし、令和4年4月1日から令和5年1月31日までに出生した子及び令和4年4月1日から令和5年1月31日に妊娠届出をし、令和5年2月1日以降に出生した子に遡及対応する。

- ・妊娠届出面談後（出産応援給付金（たまごギフト））
50,000円支給 1,655名（うち、654名は遡及対象者）
- ・出産後助産師訪問等の面談後（子育て応援給付金（ひよこギフト））
50,000円支給 951名（うち、665名は遡及対象者）

(4) スタッフ

保健師、助産師

(5) 周知方法

- ア 妊娠届出時に事業の説明を行い、案内文を配布
- イ 小牧市妊産婦・乳児健康診査受診票に事業内容を掲載
- ウ 出生届出時配布チラシに相談申込フォームを掲載
- エ 小牧市ホームページに事業内容を掲載

14 こまき巡回バス「こまくる」マタニティフリーパス配布事業

(1) 目 的

妊産婦の「こまき巡回バス」の利用料を無料とすることで、妊産婦健診や乳児健診をはじめ様々な外出時の移動手段として活用してもらい、移動手段を持たない妊産婦だけでなく、すべての妊産婦の外出支援及び巡回バスの利用促進につなげる。

(2) 対 象

妊産婦

(3) 利用期限

妊娠届出時から出産予定日の1年後の月末まで（約22か月間）

(4) 配布方法

妊娠届出時及び転入時に子育て世代包括支援センターにて配布。

(5) 利用方法

マタニティフリーパスを乗車（初乗り）時に提示して乗車する。

1日のうちで2回目以降に乗車する時は、こまくる利用券を提示して乗車する。

(6) 実 績

4,248回（200円/回）